

幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会（第1回）

議事概要

1 日 時：平成30年1月23日（火） 13：30～15：45

2 場 所：内閣府庁舎3階特別会議室

3 出席者（検討会構成員）：

林 文子	横浜市長
樋口 美雄	慶應義塾大学商学部教授（座長代理）
増田 寛也	東京大学公共政策大学院客員教授（座長）
無藤 隆	白梅学園大学大学院子ども学研究科特任教授

4 議事概要

（1）会議運営等

- ・資料1により検討会を開催することの説明があり、その後、検討会の運営について、資料2の（案）のとおり決定した。

（2）茂木人づくり革命担当大臣挨拶

- ・昨年12月に閣議決定した「新しい経済政策パッケージ」では、3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化するとともに、0歳から2歳児については、待機児童解消の取組とあわせ、低所得世帯について無償化することとした。
- ・その際、幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲、対象者等については、専門家の声も反映する検討の場を設け、現場及び関係者の声に丁寧に耳を傾けつつ、保育の必要性及び公平性の観点から、夏までに結論を出すこととした。
- ・本検討会は、こうした方針を踏まえ、関係者の意見をしっかりと聞いていただき、中立的かつ専門的な立場で検討を行う場として設けられたものであり、本日がそのキックオフである。
- ・本日は、早速、利用者の方々からのヒアリングを行っていただくこととしており、今後、事業者や自治体の方々などからも幅広くお話を聞いていただきたい。
- ・今後のスケジュールとしては、おおむね月に1回程度の頻度で開催していただき、夏に予定している人生100年時代構想会議の基本構想のとりまとめまでに結論を出していただきたいと考えている。
- ・利用者の方が普段から本当にお感じになっていること、忌憚のない御意見をお寄せいただきたい。
- ・そして、この検討会の構成員の皆さんにそれぞれの声をしっかり聞いていただいて、これまでの経験や現場をよく熟知した立場から議論を進めていただきたい。

(3) 関係者からのヒアリング① 認可外保育施設の利用者、地域子育て支援従事者

【Aさん】

- 世田谷区で、妊娠期から0～2歳ぐらいの子供の親たちのための場である、地域子育て支援拠点を運営している。また、子ども・子育て支援新制度の利用者支援事業（相談事業）の委託を世田谷区から受けており、子育てのよろず相談を行っている。
- 世田谷区は、他の自治体が小規模な保育施設をつくっていたときに、認可園を作ってきたので、3歳児については、待機児童の問題としては概ね落ち着いてきている。ただ、フリーランスや週3のパートタイムのような働き方の人たちはまだまだ難しく、その実態が見えにくい。幼稚園に流れたり、仕事を辞める方もいる。
- 無償化について、「全ての子供」と言っているのに、認可外は対象ではないと言われると、当事者の人は「何で？」と思う。このようなしっかりとした検討の場は、とてもありがたい。家庭にとっては、喜んで認可外に行っているわけではないこともある。認可保育所に入れなかったからということもあるし、例えば夜の仕事をしていたり、24時間保育に入られている方は認可外のことが多い。そういう人が無償化の対象からこぼれてしまうというのはどうなのか。また、障害があったり介護を抱えていたりという家庭の状況もある。働くことだけを申請要件にする制度ではこぼれてしまう人もいる。最初から諦めたり情報がキャッチできない人にも光が当たるようにしてほしいというのが、私たちの要望である。
- 「質が高い」という条件で認可外は全部だめというのではなく、しっかり家庭と連携して子供の生活を支えてくれる園だけを選ぶというのは難しいのだろうが、ビジネス目的で経営し子供にきちんと視点を当てていない施設を排除しつつ、でも、そこに仕方なく入っている人をどう救うのか。私たちも答えは出ないのだが、現実にそういう方がいるので、お話をしっかり聞いていただきたい。

(自治体において、これまで認可保育園を作ることががんばってきており、今は認証保育所というものも出てきているが、状況はいかがか。)

- とにかく大変な地域で、認可保育園に全然入れない。兄弟がいる子しか入れない、第1子に入れないという諦めもある地域で、いわゆる「保活」が妊娠中から始まってしまう。そうすると、親同士も同じ地域でライバルになり、親同士が協力して育ち合うような空気ができにくくなる。子育て支援拠点では、この時期につながり合えるようにしようとしている。
- 認証保育所も今はなかなかできない。また、認証保育所が認可に移行している中で、3歳児で認可に移れず、認証保育所に残らせてもらって、同級生がいらない状況になったり、私立幼稚園に落ちて区立の幼稚園(2年保育)に入るまで、一年間地域に残る子がいたりする。今の一時的な問題だと思うが、3歳児が一

番居場所として悩ましい状況に陥っている。

(何を基準に質が高いと考えているのか。)

- 難しい。私の自治体では、保育園を利用している保護者や園の運営者や学識経験者と、保育の質のガイドラインをつくって、それに基づいて審査をし、実際の保育もこれを目指してくださいと発表している。最近、漫画にして保護者にも配っている。
- 保育の質の評価は難しい。ぱっと見て、「いいな」と思う点は人それぞれで、英語を教える点の評価する人もいるし、地味ではあるが本当にしっかりと子供に向き合う保育を評価する人もいる。保護者の人に理解してもらうのは難しいし、実際に様々なニーズが親にあり、子供にとってどうかという視点と食い違う場合もある。
- 私も無認可に入れていたので思うのだが、無認可だから、お金もないし質も悪いのだが、しっかり予算を投入されれば、いい保育ができるのではないか。一方で、認可保育所でもひどいと思う園もある。昔は、株式会社はだめという話があったが、社会福祉法人でも大丈夫なのかという保育所もある。法人格の違いではないし、認可、無認可の違いでもなく、やはり保育は人だと思いが、どんなにいい保育をしようと思ってもお金がなければスタッフも雇えない。親の立場では、無償化により経済的にバックアップしていただけるようになるのはありがたいが、子供のいる園の運営そのものがしっかりできる、人材養成ができる、研修に出ていける、といったことを無認可にも注いでほしい。

【Bさん】

- 子供が3人おり、5歳児と3歳児の上の2人を無認可保育園に入れている。
- NPO法人が運営し、ホームページでは家庭的な雰囲気です少人数をうたっている。1クラス10名ほど。0歳から5歳児までの園児がいる。
- 利用頻度は週5日、7時半から18時まで預かっている。
- 2年ほど前に他県から引っ越してきたが、もともと認可保育園に入っていたので、今の自治体でも認可保育園に入れるよう相談したところ、担当者から、「2歳児は無理。4歳児は場所さえこだわらなければどこかに入れるかも」と言われ、認可外を強く勧められた。場所もよく分からない中、兄弟がばらばらの園に通うよりは、1つの園で面倒を見てもらえるほうが助かるので、認可外のリスト全てに電話し、唯一、2人一緒に預かれますという前向きな返事をいただいた園があったので、そこに入れることを決めた。
- 月当たりの費用は、ホームページでは5万円弱、それに乳児は1万5,000円の乳児加算がつくとあったが、課税証明書を提出することで、それぞれの家庭に見合った値段にするといいと言われ、1人当たり約4万円となり、2人合わせて約8万円とな

った。この負担額は、そのまま変更されていない。

- もし自治体の認可園であれば、1人当たり1万円ぐらいは安くなるので、お金が大変と思うこともあるが、2人一緒に預かっているという感謝の気持ちもあり、また、急な自己都合退園の場合は違約金が必要なため、尻込みをしてしまい、移りたいが移れない状態である。
- サービスについては、以前通わせていた認可園と比べてしまうが、やはり部屋は狭いと感じるし、保育士の数も少ないと思う。認可のときは大体の保育士と顔見知りだったが、今の施設は、気づいたら知らない人が増えていたり、見なれた方がいなかったり、保育士の入れ替わりは激しい気がする。給食はなく、お弁当を持参しており、これがずっと続けば正直しんどいという印象もある。
- 保育士が少なく、たくさんの園児を相手にしていることもあり、長時間テレビを見せている。子供が家で見せたことのないアニメを知っていたので、気が付いた。友達がたくさんいるのにどうしてテレビを見せるのかという気持ちが抜けない。
- 転職や転勤などの転入者が非常に多い園なので、小学校の話になると、ばらばらな小学校を言う。そのため、ずっと付き合っていけるような関係は持ちにくいという雰囲気を感じる。
- 今の保育園のいいところは、兄弟の受入れを積極的にしていること。このため、兄弟が多い。認可に入れたい受け皿のような園なので、入りたくても入れなかった親や、兄弟一緒に入れたいのでその園を頼らざるを得ないというところもある。こうした園には補助を入れていただけるとうれしい。

(現状に満足されているか。)

- 正直、認可に入りたい。認可に入りたいが、落ちるかもしれない。いろいろ考えると今の園を愛さざるを得ない。不満はあるが、ここはいい園だと親が思い込もうとしている。私はそういう気持ちで話をしている。

(不本意で無認可ということだが、その気持ちは変わらないか。)

- 今年の春から認可に移そうと思い、今、申請を出して結果を待っている。去年は、上の子があと一年で卒園するし、転園して、友達がいなくなってしまうのもちょっとかわいそうかなと思い、上の子が卒園するまでは今のところに預かってもらい、4月から認可に行きたいと考えている。

【Cさん】

- 2人子供がいて、2人とも同じ認可外保育園に通っていたが、今は、上の子が小学生になっている。
- 夫は自営業で妻はフリーランスで、上の子の保育園を検討したときに認可も申請したが、職業的なこともあったのか入れなかった。認可の申込みと同時に無認可

も探しており、自由で面白いと感じ、保育方針に惹かれた無認可の保育園に入れることにした。園庭はないが、毎日のように外の公園や遠足に行くなど、とにかく外に出て自然の中で遊ぶ。3歳児から一日1万歩ぐらい歩いている。こうした方針は素敵だと思い、見学の際には是非入れたいと思った。

- 上の子は重いアレルギーを持っているが、うちの子1人だけ、給食でアレルギー食材を全部抜きながら同じメニューを用意してくれた。園長先生は、「みんな仲間だから、アレルギー食材以外は、みんなと同じものを食べさせてあげたい」と言ってくれた。私は感動し、それから保育園をどんどん手伝うようになった。
- 保育園は本当に子供目線で、子供のために保育をやっている。とにかく人手も足りないし、お金も足りない。園長の方針で、来られない家庭が出ないよう、月の保育料を5.5万円より上げない。その分、バザーなどで親が頑張って補助してほしいということをやっている。親も保育園の方針に共感し、協力的で頑張っており、親のコミュニティーもでき、いい仲間の中で子供たちをみんなで見ている。
- 下の子は重い障害があるが、「お兄ちゃんがいるからもちろん入っていいよ」と言ってくれた。重い障害なのでほぼ1人保育士さんが付くが、嫌な顔をせずに来てくれ、一緒に遊ばせてくれている。私は今の無認可の保育園にとっても感謝していて、なるべく子供らしい場所で、子供が好きなように、自由に遊べるのを見守る保育の環境というものをつくってあげたいと、その保育園を見て思った。
- 無認可でも、本当に子供の視点に立ったすばらしい園もあることをお伝えしたい。

(人数は全体で何人ぐらいか。)

- 大体1学年9人から10人。

(認可保育所が空いていれば、認可保育所に移るか。)

- 私は移らせない。うちの保育園は、多分、認可が空いたら移るという人が極端に少ないと思う。保育方針に共感して来ている親が多く、明らかに子供が楽しそうなので、その分のお金は払おうと入れている親がほとんどである。

(自発的に無認可を選んだということだが、何か情報があってそのように選んだということか。また、その後も変わっていないということか。)

- いい保育園という情報も事前に聞いていたが、実際に保育見学に行ったら実感し、また、園長先生が素敵な人だと思った。一方、認可を見学に行ったときに、保育士たちが大人の方を向いているなど感じたこともあり、どちらがうちの子供にとっていいかを考え、今の無認可に入れるという判断した。
- 保育園は、ずっとそこに行かせたい。親にとって今の保育園の保育士や園の雰囲気の子供にいいと思っている。

(保育士さんの異動はあまりないのか。)

- 入れ替わりは少ない方だと思う。本当にプロとを感じる人がいる。加えて、親の保育参加もあり、私も平日に休みをとって参加する。

(最後に何かあれば。)

- 親としては、教育に関心があり、なるべく小さいときにいい体験や学びをさせたいと思っているので、選択肢があったほうがいい。教育に力を入れる高額な保育園に行ける人は行けばいいと思うし、無認可でもいろいろなところがあると思う。親や子供に合うかもあるので、選択肢がなるべく増えるような形で、無認可に対しての補助があるといいと思う。

(4) 関係者からのヒアリング② 幼稚園の預かり保育利用者

【Dさん】

- 東京都内在住で、夫婦共働き。職業は医師で、今は非常勤を掛け持ちしている。幼稚園の年長に通っている子供と、認証保育園に通っている3歳と1歳の子供がいる。最初は、3人別々の園に預けていたが、半年後ぐらいに下の2人を同じ認証保育園に通わせられることになった。
- 子供を幼稚園に行かせたのは、預けていた認証保育園が2歳児クラスまでしかなく、認証保育園を出る時に、認可保育園に入ることができなかったことと、子供の今後の教育を考えれば幼稚園に行かせたいという気持ちもあり、幼稚園を選んだ。今行っている幼稚園は1学年160人ぐらいおり、幼児期にたくさんの個性を持った友達とかかわる中で、人間性の形成、社会性の形成ができることは非常に重要と思った。また、それまで通っていた認証保育園は園庭がなく、広い園庭で遊具がある施設に通わせることも、子供の教育にとって意味があると思った。また、しっかり運動会の練習をやったり、発表会でみんなでそろえて仕上げるような達成感を味わったりすることも、子供の教育に非常に重要と思った。
- ある程度働いていないと仕事の資格を維持できず、預かり保育が充実したところでないと仕事を続けられない。今は、朝8時から夕方5時まで預かり保育を利用している。午後5時には迎えに行けない場合もあり、週3日ぐらい預かり保育を利用して、あとは実家に幼稚園バスのお迎えに行ってもらい実家で見てもらっている。夏休みも、最近、幼稚園の預かり保育の日数が大きく増えたので、基本的には、週3、4日預けている。
- 他の預かり保育の利用者は、共働きで仕事のための方もいれば、上の小学生の子供の学校行事や習い事の際に利用している方もいるようである。
- 費用は、幼稚園の月当たりの通常保育は、バスの送迎代込み、給食費込みで4

万円弱。それとは別に、絵の具代や、冷房代などの実費がかかる。預かり保育の費用は、午後まで通常保育がある日は1,000円、午前中で通常保育が終わる日は1,500円。夏休みなど8時から5時まで丸一日預ける日は2,000円で、全部給食代込みの金額になっている。今年から、仕事など、ある程度の要件を満たしている保護者に関しては、どんなに預かり保育を使っても1か月1万5,000円という制度ができたので、それを利用している。

- 預かり保育の内容は、基本的には普段の幼稚園の保育の延長で、そのまま幼稚園の教室や園庭を使っている。園庭で自由に遊んだり、牛乳パックや廃品を使った制作をしたり、折り紙をしたり、夏休み中であればプールもある。絵本、ごっこ遊び、歌やダンスもある。基本的には、この幼稚園では、給食は出る。全ての学年と一緒に預かり保育に参加するため、小さいときには年長の子供に優しい声をかけてもらったり、一緒に遊んでもらったりしていたので、自分が大きくなってから小さい子に声をかけてあげて、一緒に遊べていたり、人間同士でかかわることで成長しているのだなと思う場面もあった。
- 普段の保育の延長でやっていただいております、預かり保育に関する満足度は高い。費用に関しては、保育園と比べてしまうと若干高いかなと思うところもあるが、預かっただけなのでありがたいと思っている。3人子供がいて、幼稚園と保育所の保育料もかかるし、送迎に必要な車を買いかえたり、幼稚園の近くの駐車場を借りたりと、子供に関して家計の中でかなりの費用がかかっている。もう少し抑えられるとありがたいと思っている。
- また、下2人が別の保育園で上の子が幼稚園のため、送り迎えが大変で、全員送るのに1時間かかっていた。グズグズ期、イヤイヤ期の子供を3人車に乗せるのに一苦労、最初の保育園でまず全員を降ろして朝の準備をして先生に申し送りをし、また次の保育園に行くために嫌がる子供を車に乗せて、また次の保育園で朝の準備をして、最後に幼稚園というのが本当に大変であり、なるべく1か所で預けられるとありがたい。
- 幼稚園の3年間で、子供が成長したと実感している。幼児期に集団の中で学ぶことは多かった。また、ベテランの先生がとても多く、子供がこのようなしたときにどうしたらいいかなどを教えてもらい、親としても成長できた。施設も非常に充実しており、幼稚園に行かせてよかったと思う。

(給食代が保育料に含まれるとはどういうことか。)

- 通園している幼稚園は、水曜日が午前保育、それ以外の曜日は基本的に午後まで保育がある。全員給食で、お弁当を持ってくるという選択肢がない幼稚園であり、全員に対して給食費込みの保育料が設定されている。

(預かり保育が夕方5時までなのは、不便かと思うが、この幼稚園を選んだ理由は。)

- 今の幼稚園は隣の市にある。住んでいるところの周辺にも幼稚園はたくさんあり、説明会には全部行った。なかには6時や6時半まで預かるという幼稚園あったが、6時半まで預かる所でも実施日数がかなり少なかったり、急に休園したり、預かり保育を取り止めるという連絡が1週間前に突然来るといいう話を聞いたりして、選択肢から外れていった。
- また、入園当時はフルタイム勤務で、夜間勤務や緊急の呼出しもあり、朝、確実に弁当を持たせることができない状況だったので、給食が毎日出る園というのが私の中では大前提だった。

(預かり保育を利用する上で、利用要件はあるのか。)

- 夕方の預かり保育は、働いていても働いていなくても利用できる。ただ、朝8時からの利用や毎月定額制の利用は、月に一定時間以上働いている方や介護をしている家庭などに限定されている。

(園児のうちどれぐらいの子供が預かり保育を利用しているか。)

- よく分からないが、入園するとき、1学年が大体150人~160人で、預かり保育の利用者は全体で、多い日に80人、少なくとも40人はいるという話を聞いた。また、園のイベントがあるときは人数が増えるが、基本的に申し込んだ人は全員受け付けてもらえる。

(保育園が完全に無償化となった場合でも、預かり保育を利用しながら幼稚園に通わせたいか。)

- 2人目の子が今年の4月から幼稚園に行くに当たって、いろいろな所の説明会に行ったが、幼稚園でも保育所でも、園長先生が信念を持って取り組み、子育てや子供のことをしっかり考えている先生のところへ預けたい。今は、幼稚園も認証保育所も、どちらも行かせてよかったと思えるところに行かせることができた。無償になっても、今の園に行かせたい。

(園児の数が多いというのはメリットか。)

- 利用していた認証保育所は小さく、1学年が6人から8人。幼稚園の1学年160人と大きく違い、園庭もない。小学校に入っていくなり集団に入るときに、だいぶ違うと思った。発表会などの経験も難しいと思った。

【Eさん】

- 東京都内在住。夫婦共働きで、幼稚園に通う6歳の子供と認証保育園に通っている2人目の子供がいる。会社員で、時短勤務をしている。
- 幼稚園を利用するようになった経緯は、最初の子供は1歳から認可保育園に通

わせていたが、今の自治体への転居と2人目の出産が重なり、フルタイムで働くことが厳しい状況になった。転居先でも保育園を探したが、認可保育園はフルタイムでないと入園ができないということで断念し、近くの幼稚園に通うことにした。

- 預かり保育は、月曜日から金曜日まで、5時まで預けている。夏休みなどの長期休暇も、毎日8時から5時まで通わせている。
- 預かり保育の内容は、園児みんなで楽しむ遊びやイベントを、先生がいろいろ考えて下さっている。また、自分で好きな遊びをしてよいときもあり、朝、子供が今日は何して遊ぼうかなとわくわくしていて、とても楽しんでいると感じている。また、上の子が下の子の面倒を見ている。通常の保育と預かり保育は同じ先生が担当しているので、先生が変わって不安になることもない。親としても安心して預けられる。
- 預かり保育の費用について、月額プラス1万5,000円の出費は、質を考えれば相応だと感じてはいるが、過去に認可保育園に通わせていたことと比較すると、補助があれば大変助かる。
- 勤務地が遠く預かり保育が5時までのため、就業先と交渉をして時短勤務をしているが、仕事と子育ての両立に苦労している。それでも幼稚園に行かせてよかったことはたくさんあり、保育の質は高いと思っている。実際に子供を認可、認証、無認可の保育所にも通わせた経験があり、園児の安全第一と園児に愛情を注ぐといった点では全ての園にとっても満足しているが、その一歩先の幼児教育については、一番質が高いのが幼稚園と思っている。例えば、子供に答えを与えるのではなく、子供がうまく考えていくように見守り、そっと導くようにして、子供の成長を促す。また、成長の過程をシートに記録し、写真もつけて、親に情報共有してくれるので、それに沿って家庭でも子育てをしていくことで、幼稚園と家庭が1つの丸のような形でつながっているのは、今の幼稚園の一番よいところである。
- 「みんななかよく」などのテーマをこの幼稚園は掲げているが、3年間でそのとおりに成長していきおり、通わせてよかったと思っている。

(保育園が完全に無償化となった場合でも、預かり保育を利用しながら幼稚園に通わせたいか。)

- もし入園前にさかのぼって、保育園が無償で、幼稚園はこれだけ費用がかかるといった話があったならば、無償だから保育園に入れようという気持ちが100%だったと思う。しかし、子供を3年間幼稚園に通わせた今の時点で判断するなら、無償という目先のことも大事だが、本当に大事なものは教育であって、心の情緒が一番発達するのが幼児期であることを考えると、その金額で見てくれるのであれば私は幼稚園を選ぶと思う。2番目の子供もこの4月か

ら3歳児になるが、上の子と同じ環境で育ててほしいと思い、同じ幼稚園に行かせることを決めた。

(預かり保育が5時までなのは不便かと思うが、この幼稚園を選んだ理由は。)

- 子育てを一番に考えているので、自分の仕事を少し早く終わらせることになっても、この幼稚園に通わせたい。

(最後に何かあれば。)

- 幼稚園に通わせたことは、親にとってもよかった。園長先生が保護者会を定期的に開き、幼児教育についての話を聞く時間がある。仕事と子育てをしていると、どうしても「ママ、見て見て」と子供に言われたときに「今、見られない」と冷たく対応してしまうことがあるが、園長先生から「今が大事だから」とお話をいただき、ぶれないように軌道修正されている。それは大事なことで、子供も親も育つチャンスをもたらしていると実感できる。

(5) 関係者からのヒアリング③ 希望するみんなが保育園に入れる社会を目指す会

【天野代表】

- 保育園にみんなが入れるような社会を目指して、政治家や役所に対するロビーイング活動を行っている。
- 最初に、資料の3ページ目、保育園の入園システムについて説明する。簡単に言えば、これは11月に行う玉入れの競争である。まず同時に11月にみんな玉を投げ入れる。かごの中に入るのは認可保育園に入れる人。かごに入らず下の円の中に落ちる人は無認可園に入れる人。円から外れた人が育休延長する人。そして、敷地から飛び出してしまう人が退職を余儀なくされる人という位置付けである。
- 重要なのは、4ページ。玉入れのボールは選考基準点に応じて並びかえられる。自治体によって、例えば、母子家庭、無認可園に入園している、居住年数が1年以上などで加点される。この選考基準点の計算方法は、毎年9月に変わり、さらに、自治体によって異なる。
- 認可外保育所は、高い料金が必要なため勘違いをされる方も多いが、年収の高い人の受け皿ではなく、自治体の基準で振り落とされた人たちの行き場である。

【Fさん】

- 東京都港区在住。子供が3人おり、3人とも認証保育園に入っている。
- NPOの職員で学童クラブに勤務している。勤務時間帯は基本的に午後で、フルタイム就労ではないため、保育の優先順位の点数が低い。
- 認証保育園を利用し始めたのは、最初の子供を妊娠したタイミングでちょうど仕

事をやめており、専業主婦になることも考えていたが、昼間、子供と1対1で他に何もできない状態で過ごさなければいけないため、鬱のようになってしまい、これは仕事に出なければまずいと考えたから。前に住んでいた自治体の印象で、3歳になれば幼稚園で6時まで預かってもらえると思い、港区の幼稚園を調べたところ、そもそも区立幼稚園の倍率が10倍だった。今でも3倍を超える。延長保育も当時は実施していなかった。去年から始まったが、4時までで、これでは働けない。しかも幼稚園に入れるかどうか分からない。ならば保育園に入れたほうが確実だろうと考え、申込みをした。

- 当時は無職だったので、「求職」を理由として申請したが、「求職」は最低点であり、よほどの余裕のある区でないと入れない。希望する保育園として、行ける範囲の10園程度を書いたが、全部落ちた。その時はNPOに内定をもらっており、同一園につき月8回までしか利用できない一時保育を3園登録してはしごしようと考えていたところ、今の認証保育園から「4月から入園可」という連絡が来た。
- 安心したのも束の間で、保育料は月に7万円強。当時、港区からは1か月4万円の補助金が出たが、3か月ごとの支給で、雑費所得として確定申告するようと言われた。「これは2人目を産めるのか」と思ったが、行政の都合で子供を諦めるのはおかしいと思って2人目を妊娠した。そのタイミングで、港区の認可保育園は、第2子から保育料無料という政策がでた。そこで、兄弟別園でもいいと思い申し込んでいたが、全部落ちた。これ以上保育料は払えないので、仕事をやめるしかないかと悩んでいたところ、ぎりぎり3月になって、認可保育所を落ちて認証保育所に通っている子供は認可保育所と同等の保育料になり、しかも「第2子から無料」が認証保育所にも適用されることになり、安心して一人目と同じ園に二人目が入園することができた。第3子は保育園の希望を10園以上書いて申請しているが、点数が低いので入れるかどうか分からない。妊娠中の4人目は完全に見切り発車なので、どうなるのか完全に闇の中である。
- 利用者の負担額は、港区の補助を受けない場合、月220時間の利用で、第1子が4歳児で約6万円、第2子が2歳児で約7万円、第3子が0歳児で7万5千円程度。夕食が必要で毎日つけており、1食200円×3人分がほぼ20日かかる。これが港区の補助を受けることにより、認可相当の負担になるので、第1子の1万4,200円のみで済んでいる。第2子、第3子は、保育料は無料。夕食代は実費でかかるので、合わせて月に3万円ほどで済んでいる。認可保育園との不公平感を感じたことは全くない。
- 認証保育園の最大のメリットは、妊娠中から保育園の利用予約ができ、兄弟を優先してくれるので、兄弟を確実に同じ保育園に預けられるところ。4人目の子供が生まれるが、兄弟別園なら考えると非常に負担を覚える。認可保育園の申込みに行くと、必ず「上の子と同じ保育園でないとまずいですか」と言われる。まずくはないが、非常に大変である。別園にしても保育料は安くないし、別園

を選ぶメリットは全く利用者にはない。

- 港区では第2子以降の保育料が、所得に関係なく完全無償であり、認証保育所も認可保育所と同じ保育料で利用できる。完全無認可の保育園であっても補助金を出している。その成果だと思うが、出生率は23区トップの1.44まで回復している。

【天野代表】

- 資料に、3歳児以上の認可保育所の保育料の最高額の表を入れている。保育料は年収に応じた応能負担で、自治体が決めている。例えば、港区は25階層に分かれており、一番上の階層が月収70万円以上、年収換算で約1,650万円程度との新聞記事があった。港区では、保育利用者の22.5%がこの階層で、保育標準時間の場合、3歳児で月に2万9,300円、4歳時以上で2万3,400円を払っている。
- 東京都の認証保育所は、上限額が0～2歳は8万円、3歳以上は7万7,000円となっている。基礎自治体によって助成金があるが、額が違っている。港区は第2子以降無償など手厚いが、例えば武蔵野市の友人の場合、3歳児の認証保育所を利用しており、毎月6万6,000円払い、自治体からの助成金は1万円である。
- 今回、3歳児以上が無償化の主な対象だが、実際に3歳児以降にどこかに就園できているか重要である。資料にあるように、3歳については約15%の未就園児童がいる。また、待機児童の89%が0～2歳で、認可外利用者も多くいることを強く認識してほしい。よって、認証保育所にも通えず、認可外を利用されている方からお話いただく。

【Gさん】

- 夫婦とも東京都内の会社員。フルタイムの共働き。
- 2016年夏に長男を出産。2017年4月に会社復帰予定で、区の窓口でも「0歳で申し込んだほうが良い」と言われたので、0歳児のときに認可保育園に申込みをした。ところが、0歳児では認可保育園は全く入れず、認証保育園を回ってもどこもいっぱい、既に100人待ちと言われ、申込みすら受け付けてもらえなかった。兄弟枠で認証は埋まってしまうので、ほとんど認証は入れなかった。
- それが去年の2月。預け先がないので、当然復職は延期になった。認可も認証も入れないので、厚生労働省のホームページから無認可の保育園の一覧表をダウンロードして、自宅周辺と自宅から通勤に使う路線沿いの保育園をピックアップして、地図に落として、どこなら通えそうかを夫と相談し、片っ端から電話して見学を申し込んだ。去年のカレンダーを見ると、2月から4月までは、電話か見学かでほぼ毎日埋まっている。本当に不毛で、ここまでしても空きのある保育園は3月までに見つからなかった。子供はまだ小さいので、私が電話をしたり、スマホで調べものをしてしていると泣いてしまう。保活の時間の分、自分の睡眠時間が削られることになると、家族共倒れになるため、4月に入ってから保活のために

ベビーシッターをお願いした。

- 4月半ばぐらいから数件、空く可能性のある無認可の園が見つかり始めたが、0歳児と一時預かりの5歳児が同じ部屋で遊んでいて危ないと思ったり、うつぶせで昼寝させている園もあったり、毎月20万円かかる園だったり、我が家の家計や保育内容からすると預けられない、預けたくないという園がほとんどだった。こういうところだから空きが出るのだろうと思った。
- 結局、4月半ばに連絡をくれた無認可の園に預けることとし、昨年7月から復職している。自宅から会社とは逆方向に2駅電車でさかのぼって、さらに10分歩いている。悪天候のときは本当に大変である。
- 保育料は、1歳児以上は毎月13万円。朝8時から午後6時までの1日10時間、週5日預けている。0歳児のときは約15万円払っていた。家計としては予算オーバーだが、これ以上探し続けても条件的に妥協できる無認可は見つからないと判断した。次の4月に認可園に入るためには、早く復職しないと優先順位が上がらない。「無認可だろうが認証だろうが、とにかく認可外の園に預けることが認可に入るためには必須」と区の窓口でも言われており、一時的な予算オーバーの出費は仕方がないと夫婦で話し合っただけで決めた。
- この2月に、4月以降認可園に入れるかどうかの結果が出るが、もし入れなかったらと思うと戦々恐々としている。区のデータを見ると、3歳児の待機児童は、多少増減はあるが、全体として増加傾向であり、就学前児童の数は一貫して増えている。政府の3歳児以上の無償化の方針を受けて、新たに幼稚園や保育園に入りたいという子供が増えてしまい、ただでさえ厳しい競争率がさらに上がることにならないかと思っている。
- 認可外の園が無償化の対象から除外されたり、別の扱いをされれば、非常に心外である。私達は、別にセレブでもなく、お受験対策の特殊な保育を求めているわけでもない。単に認可や認証に入れなかったから、無認可に通っているのであって、自分で無認可を選んでいるわけではない。区の窓口では、「とにかく無認可でもいいから認可外に入れてください」と言われた。つまり、国の基準を満たさない施設を、自治体の実態として推奨している。無認可を無償化から除外するのは実態に合っていないロジックだと思う。
- 国全体として幼児教育を無償化していこうという考え方には賛成である。0歳児から保育園に通っているが、夫婦だけでは気づけなかったことをたくさん保育園の先生たちに教えていただいている。せっかく無償化するのであれば、きちんと全員が入れるように受け皿を用意していただきたい。

【天野代表】

- 資料に「待機児童の称号をもらえる人は誰か」のページをつけている。左の緑の枠内は入園申請手続した人だが、認証保育所などの地方単独事業を利用している

者や育児休業中の者、特定保育園のみを希望している者、求職活動を休止している者は待機児童にカウントされず、隠れ待機児童に押し込まれている。4月から運用が変わっているが、大変面倒な保育園の申請書類を作成したのに待機児童にはカウントされていない現状。数値的にも待機児童よりも隠れ待機児童の方が多い現状故、「隠し」待機児童と呼んでも過言ではない。政府が2020年度までに、右側の申請すらしていない人の扱いは不明確だが、潜在待機児童数を32万人とし、保育の受け皿を確保するという方針を出しているが、88.6万人分の受け皿が必要ではないかという数字も民間シンクタンクから出ている。この受け皿確保の前に実施する、無償化の意義を改めて考えてほしい。

- 厚生労働省が行った認可外施設の利用料についての平成24年度調査結果を資料につけている。認可外の利用料は月3万円から7万円以上が多いことを踏まえていただきたい。
- また、3つ伝えたいことがある。1つは、無償化の会議に私たちも入れてほしい。私たち抜きで私たちのことを決めないでほしい。今回は都内在住の3名が参加したが、当事者の悩みは様々である。東京都内であっても、自治体ごとに事情は異なるし、地方都市でも認可外利用者はいる。多くの当事者に何度でもヒアリングし、議論に参加させていただきたい。
- 2つ目は、無償化が何のためかということ。社会問題の中でも、少子化、女性活躍、幼児教育、財政健全化などの切り口があると思うが、3歳児以上の無償化実施は何に寄与するのか。無償化は悪い政策ではないが、政策の順番に問題があるのではないかと。全入化を整えた上で、無償化をすべきと申し上げたい。
- 3つ目は、それでも無償化を実施するのなら、地方単独事業の利用者や企業主導型の利用者については無償とし、完全認可外は公定価格相当分までは補助の対象額とすべきではないか。認可を希望しても入園できないという方が大半であり、自治体の窓口で無認可の利用を勧められている状況である。最後のページに公定価格の表があるが、2号認定されているということは公定価格分の保育料を享受する権利があり、それが公平であるというのが我々の考え方である。

(無認可に預ける保護者の負担や自治体の補助は、自治体ごとに多様か。)

【天野代表】

- 多様である。補助については、所得制限の有無も異なり、金額も毎年変わっている。9年前に認可外に入れていたときは、一律2万円補助だった。今、武蔵野市は、所得に応じて2万円、1万円と違いがある。ほぼ毎年変わるので、その変化を追いかけられていないが、自治体によって千差万別である。

(保育士の処遇改善についてどう考えているか。)

【天野代表】

- 数千億円を無償化に使うのであれば、保育士の処遇改善にもっと予算を確保すべきと思う。東京都は処遇改善を都で補助しており、他の自治体から、東京都に保育士を取られてしまうという話を聞く。3千億円かけて32万人の箱を作っても保育士さんは集まらない。保育士の処遇改善については是が非でもやっていただきたい。

【Fさん】

- 保育士資格を持っているが、アルバイトから始めると保育士の時給が1,200円。近所のスーパーのレジ打ちはついに1,100円を超えた。早く園に行って、子供たちが帰るまで子供を保育するという仕事に就くよりは、時給が変わらないのであれば、近所のスーパーの方が楽というのが私の実感である。例えば、薬剤師の時給は約3,300円であり、資格があれば薬剤師として働くと思う。保育士の処遇は軽んじられていると感じる。

(希望するみんなが保育園に入れる社会を目指す会は、親の就労にかかわらず、保育所に入れたいという人であれば、それまで含めてみんなが入れるようにというようなことを考えているか。)

【天野代表】

- 会の名前の趣旨は、そのとおり。専業主婦の人たちと話すと、「いいよね、保育園に入れる権利があって。保育園の申請もままならない、就職活動をして働きに出ることもできない。」という話を聞く。働けることが既得権益となっており、これを手放すこともできず、子供がかわいいから専業主婦をちょっとだけやってみたいということもできない。そもそも再チャレンジできないという世の中自体にも問題がある。
- 専業主婦の方が追い詰められて虐待に走ってしまったりすることもないようにしたい。例えば美容院に行くために保育園に一時保育で預けたいと思っても、フリーランスの人の受け皿になっており、利用できない。一時保育を利用しようと思ったら、何十回、何百回と電話をしないと取れない。そういう話を伺い、既得権の私たちが権利主張しているだけではだめだという思いもあり、希望する人、就労にかかわらず、保育園、一時保育も含めて保育サービスを利用することができる世の中になっていくべきという思いを会の名前にしている。

(保育園を探す中で危ないなと思える園があったという話があった。そうしたところも含めて無償化の議論というのはあるべきか、やはり質は一定程度担保される必要があるということか。)

【Gさん】

- 当然、質は確保していただきたい。無認可でも届出をしているのだから、行政がチェックをして質の担保がされるべき。チェックするマンパワーが行政機関

にないのがおそらく実態かと思うが、それは問題、課題であると考えている。

【天野代表】

- 自治体は各種手続で手いっぱいというのが私の感想。年に1回監査に入らなければいけないが、本当にできているのか。事前通告して、ちょっと行って帰ってくるだけが現状とも聞こえてくる。保育士が病気になった時に、補助要員がちゃんと補填されているのかなど、怪しいと思っている。もっと監査を強化すべき。
- 無認可の保育園でも、保育園が閉鎖されてしまうと、親が仕事に行けなくなってしまうので、園と親が運命共同体になっており、問題があっても黙っているしかないという話を耳にしている。保育Gメンのような形で査察に入るというチェック機能と、保育士が不足したときに補填する機能を行政が持てば、保育の質が保てるのではないか。保育士の数が保育の質に直結するので、行政、自治体に、力を入れていただきたい。

(最後に何かあれば。)

【天野代表】

- 無償化の会議であることは理解しているが、無償化ありきで進める必要があるのかも議論いただけないか。無償化自体は悪い政策だとは思っていない。ただ、全入化を先に進めずして無償化を先にしてしまうことに国民の77%、世論調査で6割以上の方が反対をしている。そこも踏まえていただきたい。順番を間違えると格差拡大につながり、反発も大きくなり、大変なことになる。限られた財源を有効に活用していただくためには、無償化をもう少し先に延ばすことも1つの決断ではないかと思っている。

(以上)